

大甕小学校通信

令和3年1月8日（金）

文責：校長 佐藤 伸洋



第3学期始業、授業日50日間 開始！

新年を迎え、今年度の教育活動の実践と継続に対する強い決意を抱くこの頃です。さて、第2学期授業日84日間の後の冬季休業（冬休み）中、子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。本日元気に登校し、学習活動や第3学期始めの会に参加する姿からは、約2週間の充実した生活がさらに好影響を与えていたのではないかと感じます。家族とのふれあいや季節の行事とのかかわり、地域の皆様とのかかわり等…。このように有意義な時間を過ごすことができたのは、冬季休業（冬休み）に対するご家族の皆様の御理解と御協力があったからこそです。大変ありがとうございました。

ガイドラインに基づいた新型コロナウイルス感染防止対策を講じつつ、実施方法を工夫・改善しながら、子どもたちのよりよい成長を目指して「学校だよりNo.11」のとおり教育活動を進めてまいります。引き続き、ご家族の皆様から子どもたちへの温かい励まし、教育活動への御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

●本号では、「学校・家庭教育評価アンケート記入と提出の御礼」「学校評議員会・いじめ防止対策推進会議の開催」「社会教育関連情報」について、お知らせいたします。※ 日々の教育活動はホームページに掲載中です。

「学校・家庭教育評価アンケート」記入と提出の御礼について

●今後の教育活動の工夫・改善、実践に生かすことを目的としたアンケートの御記入と御提出に御協力くださりましてありがとうございました。児童対象アンケート及び教職員自己評価と併せて、それぞれの結果を参考にしながら、令和3年度の教育課程を編成（教育活動の根幹となる教育計画の作成）を始めています。なお、アンケートの結果につきましては、後日保護者の皆様にお知らせいたします。

＜参考＞ 南相馬市公立小・中学校長会議（市教委主催：教育長指示事項）や南相馬市小・中学校長会（校長会主催）において、次の内容を確認しています。

○令和3年度の教育課程は、全ての教育活動を実施する方向（実施前提）で編成する。

○ただし、コロナ禍の状況や条件によっては延期や中止を余儀なくされる（制限・制約される）こともあり得るので念頭に置く。また、各学校における令和2年度に工夫・改善した実践事例を踏まえつつ、教育活動のよりよい実施内容や方法を検討する。

学校評議員会・いじめ防止対策推進会議の開催について

●コロナ禍の状況により延期していた「第1回学校評議員会・いじめ防止対策推進会議」を12月15日（火）に開催いたしましたので、次のとおりお知らせいたします。

①委嘱状交付 ②授業参観・校内視察 ③協議（学校経営、いじめ防止、教育活動への質問や意見）④その他

＜参考＞ 第2回学校評議員会・いじめ防止対策推進会議の開催は2月16日（火）を予定しています。なお、学校評価の集計結果等を事前に提示し、教育活動に関する御意見を伺うことも含みます。今後も教育活動の質的改善を目指します。

＜学校評議員の皆様＞

山本 昭彦 様

（市消防団員・前父母と教師の会会長）

牛来 隆治 様 （大甕地区区長会）

高田 悦子 様 （主任児童委員）

江井 芳夫 様

（学識経験者・大甕生涯学習センター所長）

田中江利子様 （父母と教師の会代表）

社会教育関連情報（研修会・講演会・講座等より）について

●学校教育を支える社会教育では「家庭・地域の教育力の向上」が目的の一つとされています。相双域内及び南相馬市において、その目的達成のために開催された研修会・講演会・講座等（「学校だよりNo.9」に掲載）の内容の一部について紹介いたします。「家庭における子育て（子育て支援）」や「子どもとのかかわり方（コミュニケーションを含む。）」のヒントにしてください。

① 福島県家庭教育応援リーダー育成事業

※ 福島県教育庁相双教育事務所

家庭教育支援者相双地区研修会

総務社会教育課 主催

□日時 令和2年11月14日（土） 9：10～12：00

□会場 南相馬市原町区福祉会館 大会議室 ☆ 校長参加

□テーマ 今こそ、コミュニケーションの大切さ

子どもの理解やかかわり方、子育て（子育て）と関連。

□演題①「子育てに生かすアンガーマネジメント」

□講師 特定非営利活動法人きぼう 副理事長 新妻 直恵 氏



<内容の一部> ○アンガー（怒り）、マネジメント（後悔しないこと）。
○怒る必要の有無を線引きする（自分を変える）方法。○怒りの感情と上手に付き合う。

□演題②「コロナ禍の今こそ、読み聞かせの大切さ」

※ 大甕小学校図書館の整備にも

□講師 南相馬市立中央図書館 主任司書 佐藤 真紀 氏 お力添えをいただいています。

<内容の一部> ○絵本は言葉の贈り物。○コミュニケーションと愛情。○「スマホに子守りをさせないで」<日本小児科医会> ○「将来の自分」を支えるのは「子ども時代の自分」。

② 南相馬市 男女共同参画講演会

※ 南相馬市教育委員会事務局 生涯学習課 主催

□日時 令和2年11月23日（月）祝日 13：30～15：00

□会場 原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」 ☆ 校長参加

□講演会内容 「自分の命は自分で守る」防災教育と関連。

□演題 「天気から知る いのちの守り方」

～地域の力で一人一人が防災士～

□講師 気象予報士、防災士 國本 未華 氏 (TBSテレビ「JNNニュース」出演中)



<内容の一部> ○生活情報に防災情報が多く含まれている。○ハザードマップやサイト等から情報を得て行動を変える。○以前の災害を記録・記憶・伝達する。○災害をイメージする。○減災は可能。○避難する勇気。○気づく・考える・行動する。

③ 南相馬市 家庭教育大学公開講座

☆ 父母と教師の役員5名、校長・教頭の計7名参加

※ 南相馬市教育委員会事務局 生涯学習課 主催、南相馬市小中学校PTA連絡協議会 後援

□日時 令和2年12月1日（火） 18：30～20：00

□会場 原町生涯学習センター「サンライフ南相馬」集会室

□講座内容 子どもの理解やかかわり方、子育て（子育て）と関連。

□演題「家庭で考える 子どものやる気と自信の引き出し方」

□講師 福島大学 教育推進機構・高等教育企画室 教授 五十嵐 敦 氏



<内容の一部> ○情報のやり取りがコミュニケーション能力を高める。○情報のやり取りの中で心身が成長・発達する。○受容と肯定が安心感と信頼感を生み、やる気を引き出す過程につながる。○人とかかわりながら生きてきたことの事実がやる気の素になる。○生活の自立に向けて大人がモデルを示したい。